

産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会  
ガス安全小委員会（第33回）  
議事要旨

○ 日時：令和8年3月9日（月曜日）13：00～15：18

○ 場所：オンライン開催

○ 議題：

- （1）「ガス安全高度化計画 2030」の改訂について【審議】
- （2）山口県宇部市で発生した都市ガス低圧導管におけるガス圧力異常事象による事故について【報告】
- （3）首都直下地震及び日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関するガス工作物の耐性評価等 について【審議】
- （4）ガス関連制度の見直し等について【審議】
- （5）2025年度立入検査の実施状況及び2026年度立入検査の重点事項について【報告】
- （6）都市ガスの保安に係る現状と課題について【審議】
- （7）その他

○ 出席者：

委員長：澁谷委員長

委員：入江委員、川島委員、岸野委員、倉田委員、庄司委員、鳥海委員、西岡委員、久本委員、藤田委員

オブザーバー：一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人日本コミュニティーガス協会、ガス警報器工業会、一般社団法人日本ガス石油機器工業会、全国ガス労働組合連合会、電気事業連合会

事務局：湯本大臣官房技術総括・保安審議官、石津ガス安全室長他

○ 議事概要

各議題の審議状況、委員の発言は以下のとおり。

- （1）「ガス安全高度化計画 2030」の改訂について【審議】
- （2）山口県宇部市で発生した都市ガス低圧導管におけるガス圧力異常事象による事故について【報告】

事務局から資料1-1、資料1-2及び資料2について説明し委員等から次の意見を得た上で、「ガス安全高度化計画 2030」の改訂について事務局案で概ね了承された。また、軽微な修正等は委員長一任とし、改訂後に公表することについて了承された。

- ・ 山口県宇部市の事故を踏まえて、ワーキンググループが開催され迅速に検討がなされたことは良いこと。
- ・ 災害時連携計画は復旧段階のみならず、災害覚知直後の設備の点検等を行う緊急段階においても有効に活用されるものであってほしい。

- ・ 事故時の需要家への情報伝達体制の強化や市民生活支援も重要。
- ・ 保安人材不足に関し、スマート保安の取組の推進やブルーカラー回帰の潮流を活用した前向きな取組も必要。

(3) 首都直下地震及び日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関するガス工作物の耐性評価等について【審議】

事務局から資料 3-1 について、一般社団法人日本ガス協会から資料 3-2 について説明し、委員等から次の意見を得た上で了承された。

- ・ 個々の設備そのものについて被害を受ける可能性は相対的に低いですが、製造所の敷地内で各設備間のつなぎ目等、剛性が変化する場所については十分注意が必要。
- ・ 災害時の迅速な情報提供は、誤情報対策としても有効。

(4) ガス関連制度の見直し等について【審議】

事務局から資料 4 について説明し委員等から次の意見を得た上で了承された。

- ・ ガス主任技術者試験のオンライン化については今後状況に応じて検討。
- ・ クロスリークについて、過去の事故事例等も踏まえて検討してほしい。

(5) 2025 年度立入検査の実施状況及び 2026 年度立入検査の重点事項について【報告】

事務局から資料 5 について説明を行い、委員等から特に意見はなかった。

(6) 都市ガスの保安に係る現状と課題について【審議】

事務局から資料 6 について説明し委員等から次の意見を得た上で了承された。

- ・ P47 に「若手の離職は課題として重要性が低いと考えられる。」との記載があるが、規模の小さい事業者ほど人材確保に苦慮しており、離職率も高く、中小事業者にとっては 1 人あたりの影響も大企業とは異なるため、全体の平均値だけで判断すべきものではなく、また他の保安業界とも産業特性が異なる中で単純に比較すべきものではない。中小事業者の確保は深刻な問題であり、業界全体での対応が必要。
- ・ 災害時の保安人材確保やスマート保安の災害対応の具体化に向け、今から対応していくことが必要。

(7) その他

事務局から、次回の日程は改めて連絡する旨説明があった。

○お問い合わせ先

産業保安・安全グループガス安全室

電話：03-3501-1511（内線 4932）